(大正十四年桜星会優勝

われ吾が戦友の血涙史桑楡哺紅に彩なせる そは繚原れるほん の火と燃えて

胡蝶蒼穹ゆく夢しばし 配素できる。 配番一時の綺花に酔ふ はるでととき はるがまる。

讃へ唱はん光栄の優勝 **禁べん戦士が情懐を 禁べん戦士が情懐を 動帆軽き景雲の船** へ唱はん光栄の優勝歌

結び輝く雙眸を 凝視よ感激の胸と胸がんげきがねがね 今幽貌の曠野に狂ひいまいうばく

> 木村英男君 宗知康 君 作曲 作歌